



Taka Ishii Gallery

Photography / Film

5-17-1 2F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan

tel 03 5575 5004

fax 03 5575 5016

web [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)

email [tigpf@takaishiigallery.com](mailto:tigpf@takaishiigallery.com)

## 奈良原 一高 Ikko NARAHARA

- 1931 福岡県大牟田市生まれ
- 1954 中央大学法学部卒業
- 1955 「制作者懇談会」に参加、池田龍雄、河原温らと交流  
池田満寿夫、薮嘯らによるグループ「実存者」に参加
- 1959 早稲田大学大学院芸術（美術史）専攻修士課程修了
- 1959 東松照明、細江英公らとともにセルフ・エージェンシーVIVO を結成（1961年解散）
- 1962 渡欧、パリを中心に3年間滞在（1965年帰国）
- 1966 東京造形大学教授
- 1970 渡米、ニューヨークを中心に4年間滞在（1974年帰国）
- 2020 没

## 主な個展

- 2024 「肖像の風景」JCII フォトサロン（東京）
- 2023 受贈記念Ⅱ「IKKO'S AMERICA」島根県立美術館（島根）  
「王国」福岡市美術館（福岡）  
開館25周年記念「奈良原一高 写真展 時空をこえた光」北海道立釧路芸術館（北海道）  
「特集：新収蔵 奈良原一高の写真」和歌山県立近代美術館（和歌山）  
「Fashion」amanaTIGP（東京）  
受贈記念・開館40周年記念「境界をみつめて 奈良原一高写真展」呉市立美術館（広島）
- 2022 「奈良原一高一王国 Domains」北海道立函館美術館（北海道）
- 2021 新収蔵展示「奈良原一高の写真」北海道立釧路芸術館（北海道）
- 2020 「生きる歓び」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）  
奈良原一高追悼展「消滅した時間」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）  
「奈良原一高「王国」とVIVOの時代」島根県立美術館（島根）  
「人間の土地／王国 Domains」JCII フォトサロン（東京）[カタログ]
- 2019 「奈良原一高のスペイン——約束の旅」世田谷美術館（東京）[カタログ]  
「Japanesque」La Vieille Eglise Saint-Vincent de Merignac（メリニャック、フランス）
- 2018 「《人間の土地》とグループ「実在者」」島根県立美術館（島根）  
「肖像の風景」島根県立美術館（島根）
- 2016 「ヴェネツィアの夜」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）

- 「消滅した時間」 (第1部: 近くて遙かな旅 1954 - 1974、第2部: 眺めの彼方 1970 - 2002)  
 フジフィルム スクエア (東京)
- 2015 「静止した時間」 タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム (東京)
- 2014 「王国」 東京国立近代美術館 (東京) [カタログ]
- 2010 「手のなかの空 奈良原一高」 島根県立美術館 (島根) [カタログ]
- 2004 「IKKO NARAHARA」 Photo Forum (ビエンヌ、スイス)  
 「円」 新宿ニコンサロン (東京、11月9日-22日) ; その後 大阪ニコンサロン (大阪、12月16日-28日) へ巡回
- 2003 「HEAVEN - [天]」 フォト・ギャラリー・インターナショナル (東京、5月8日-30日) ; その後  
 ギャラリーRAKU (京都、6月10日-22日) ; 九州産業大学美術館 (福岡) へ巡回
- 2002 「王国」 島根県立美術館 (島根)  
 「Ikko Narahara」 Maison Européenne de la Photographie (パリ、フランス) [カタログ]
- 2000 「Zen」 Piccolo Teatro Strehler (ミラノ、イタリア)  
 「人間の土地」 島根県立美術館 (島根)
- 1999 「円 En - 7 Heavens + Circular Vision」 パーソウ・フォト・ギャラリー (東京)
- 1998 「消滅した時間」 フォト・ギャラリー・インターナショナル (東京、3月24日-4月24日) ; その  
 の後 ギャラリー807 (北海道、5月14日-26日) 他へ巡回
- 1997 「ポケット東京 1992 - 1997」 コニカプラザ 東ギャラリー (東京)  
 「消滅した時間」 台中撮影芸廊 (台湾) ; その後 台北撮影芸廊 (台湾) へ巡回
- 1995 「ポケット東京」 コニカプラザ 西ギャラリー (東京)  
 「東京スカイライン - ヴァーティカル・ホライズン」 コニカプラザ 西ギャラリー (東京)  
 「Tokyo, the '50s」 モール (東京)
- 1994 「ブルー ヨコハマ」 パスト・レイズ・フォトギャラリー (神奈川)  
 「1万5千回の夜の中に」 プラザ・ギャラリー (東京)
- 1991 「ブロードウェイ」 フォト・ギャラリー・インターナショナル (東京)  
 「復活の都市」 フォト・ギャラリー・インターナショナル (東京)
- 1989 「天頂の街・ベルガモ」 ウナック・サロン (東京)
- 1987 「人間の土地」 フォト・ギャラリー・インターナショナル (東京、4月1日-28日) ; その後 ピ  
 クチャー・フォト・スペース (大阪) へ巡回  
 「無国籍地」 ウナック・サロン (東京)  
 「星の記憶」 パルコギャラリー (東京)
- 1986 「デジタル・シティー」 銀座ニコンサロン (東京、5月13日-18日) ; その後 新宿ニコンサ  
 ロン (東京、5月20日-26日) ; 大阪ニコンサロン (大阪、7月1日-7日) へ巡回
- 1985 「Ikko Narahara」 Fotografia' 85 (トリノ、イタリア)  
 「光と闇・二つの世界」 Walkerhill Art Center (ソウル、韓国)  
 「肖像の風景」 有楽町朝日ギャラリー (東京)
- 1984 「Ikko Narahara」 Foto' 84 (アムステルダム、オランダ)

- 「ポラロイド 20” ×24”」池袋西武アート・フォーラム（東京）
- 1983 「奈良原一高写真展 詩・写真集『空気遠近法』発刊記念」池袋西武・ガレリア粋（東京）  
「夜行都市・ベネチア」銀座ニコンサロン（東京、5月10日-15日）；その後 新宿ニコンサロン（東京、5月17日-23日）；大阪ニコンサロン（大阪、6月1日-7日）へ巡回
- 1982 「光の回廊ーサン・マルコ出版記念展」パルコビュー・ギャラリー（東京）
- 1981 「IKKO NARAHARA」Photographer's Gallery（ロンドン、イギリス）
- 1980 「ベネチアの光」新宿ニコンサロン（東京、11月1日-7日）；大阪ニコンサロン（大阪、11月1日-7日）へ巡回
- 「光と波とー奈良原一高による朝倉響子彫塑写真集刊行記念」丸善画廊（東京）
- 1979 「近くて遙かな旅」銀座ニコンサロン（東京、10月2日-7日）；その後 新宿ニコンサロン（東京、10月9日-15日）；飯田画廊別館（東京、10月1日-14日）；ウナック・サロン（東京、10月1日-14日）；大阪番画廊（大阪）へ巡回
- 「光の回廊ーサン・マルコ」和光ホール（東京）
- 1977 「ブロードウェイ' 73ー' 74」飯田画廊別館（東京）
- 1975 「静止した時間」写大ギャラリー（東京）  
「IKKO」ライト・ギャラリー（東京）
- 1974 「IKKO' S AMERICA」ニコンサロン銀座（東京）
- 1973 「世界批評家選抜展」Neikrug Gallery（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）  
「IKKO」Neikrug Gallery（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）；その後 ニコン・ハウス（東京）；George Eastman Museum（ロチェスター、ニューヨーク州、アメリカ）へ巡回
- 1972 「生きる歓び」西武百貨店（東京）
- 1970 「スペイン・偉大なる午後」池袋西武百貨店（東京）
- 1965 「スペイン・偉大なる午後」富士フォトサロン（東京、10月7日-20日）；壺番館画廊（東京、10月7日-20日）へ巡回
- 1960 「カオスの地」富士フォトサロン（東京）  
「ブルー ヨコハマ」月光ギャラリー（東京）
- 1959 「城」丸の内ギャラリー（東京）
- 1958 「王国」富士フォトサロン（東京、9月9日-15日）；富士フォトサロン（大阪、9月9日-15日）へ巡回
- 1956 「人間の土地」松島ギャラリー（東京）

## 主なグループ展

- 2024 「Material provocativo para pensar. Fotografía japonesa contemporánea. Colección José Luis Soler Vila」Museo Carmen Thyssen Málaga（マラガ、スペイン）  
「The Hong Kong Jockey Club Series: Noir & Blanc=A Story of Photography」M+（香港）

- 「美術家たちの沿線物語 小田急線篇」世田谷美術館（東京）
- 2023 「FOOD for THOUGHT」タカ・イシイギャラリー 前橋（群馬）
- 「TOP コレクション 何が見える？「覗き見る」まなごしの系譜」東京都写真美術館（東京）
- [カタログ]
- 「ヴェネツィア—松尾敏男+奈良原一高」長崎県美術館（長崎）
- 2022 「アートに耳をかたむけて 絵画と彫刻から聞こえる「音」」北海道立釧路芸術館（北海道）
- 「それぞれのふたり 萩原朔美と榎本了壺」世田谷美術館（東京）
- 「男と女」島根県立美術館（島根）
- 「MOMAT コレクション」東京国立近代美術館（東京）
- 「受贈記念 奈良原一高×勝井三雄」島根県立美術館（島根）
- 「Earth: A Retrospective」Bombas Gens Centre d' Art（バレンシア、スペイン）
- 「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」両足院（京都）
- 2020 「The Gaze of Things: Japanese Photography in the Context of Provoke」Círculo de Bellllas Artes（マドリッド、スペイン）
- 2019 「MOMAT コレクション」東京国立近代美術館（東京）
- 「窓展：窓をめぐるアートと建築の旅」東京国立近代美術館（東京）[カタログ]
- 「浅間国際フォトフェスティバル PHOTO MIYOTA」（長野）
- 「JCII フォトサロンコレクション展」JCII フォトサロン（東京）[カタログ]
- 「The Gaze of Things: Japanese Photography in the Context of Provoke」Bombas Gens Centre d' Art（バレンシア、スペイン、2019年2月22日—2020年2月2日）[カタログ]；その後 Círculo de Bellllas Artes（マドリッド、スペイン、2020年7月3日—8月30日）へ巡回
- 2018 「建築×写真 ここのみに在る光」東京都写真美術館（東京）[カタログ]
- 「遠くへ行きたい」東京国立近代美術館（東京）
- 清里フォトアートミュージアム収蔵作品展 「原点を、永遠に。—2018—」東京都写真美術館（東京）
- 「奈良原一高 スペイン」高浜市やきものの里かわら美術館（愛知）
- 2016 「Black Sun/Red Moon: Pictures from Japan」Ratio 3（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）
- 2009 「日本の自画像 写真が描く戦後 1945～1964」世田谷美術館（東京、5月2日—6月21日）；その後 土門拳記念館（山形、8月27日—10月28日）；愛知県美術館（愛知、11月6日—12月13日）；清里フォトアートミュージアム（山梨、2010年6月5日—8月31日）へ巡回 [カタログ]
- 2007 「VIVO」写大ギャラリー（東京）
- 2004 「In the Center of Things」Center for Creative Photography（ツーソン、アリゾナ州、アメリカ）
- 2003 「日本写真の歴史」The Museum of Fine Arts, Houston（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）[カタログ]

- 「日本の写真 1945 - 1975」Hôtel de Sully (パリ、フランス)  
「VIVO」島根県立美術館 (島根)
- 2002 「写真と 20 世紀の風景」東京国立近代美術館 (東京)
- 2001 「ギリシャ・フォトフェスタ The Spirit of Religion」Photographic Center of Skopelos (ス  
ポラデス、ギリシャ)  
「Viva! ITALIA」東京都写真美術館 (東京) [カタログ]  
「Peace Art ポスター」Felissimo Design House (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ、  
12 月 20 日-2002 年 1 月 13 日) ;その後 東京、その他へ巡回  
「馬へのオマージュ」東京都写真美術館 (東京) [カタログ]
- 1999 「写真表現の軌跡 - 1950 年代から現在まで」東京都写真美術館 (東京) [カタログ]
- 1998 「戦後日本のリアリズム 1945 - 1960」名古屋市美術館 (愛知) [カタログ]
- 1996 「1953 年 ライトアップ 新しい戦後美術が見えてきた」目黒区美術館 (東京) [カタログ]
- 1995 「写真都市・TOKYO」東京都写真美術館 (東京) [カタログ]  
「澁澤龍彦画廊」日動画廊 (東京)  
「Hyogo Aid '95 by Art: 23 Artists」日本各地へ巡回
- 1994 「Reflection of Venice」Princeton University Art Museum (プリンストン、ニュージャージー  
州、アメリカ)  
「Quest for the Moon」The Museum of Fine Arts, Houston (ヒューストン、テキサス州、アメ  
リカ)
- 1993 「時代をひらいた写真家たち 1960 - '70 年代」東京都写真美術館 (東京) [カタログ]
- 1991 「54 Master Photographers of 1960 - 1979」International Center of Photography (ニュー  
ヨーク、ニューヨーク州、アメリカ)  
「Venice」Nieuwe Kerk (アムステルダム、オランダ)  
「日本写真の転換 1960 年代の表現」東京都写真美術館 (東京) [カタログ]  
「写真の 1955 - 65」山口県立美術館 (山口) [カタログ]
- 1990 「東京 - TOKYO」有楽町西武アート・フォーラム (東京)  
「International View Point」The Museum of Fine Arts, Houston (ヒューストン、テキサス  
州、アメリカ)
- 1987 「写真 1945 - 1985」Museum für Kunst und Gewerbe Hamburg (ハンブルク、ドイツ)  
「魅惑のヴェネツィア」プランタン銀座 (東京、12 月 26 日-1988 年 1 月 19 日) ;その後 大丸  
ミュージアム (大阪、1988 年 2 月 17 日-29 日) へ巡回
- 1986 「Houston Foto Fest Biennial Exhibition: Houston and the Rodeo」(ヒューストン、テキサ  
ス州、アメリカ)  
「JAPON DES AVANT GARDES 1910-1970」Centre Pompidou (パリ、フランス)
- 1985 「パリ・ニューヨーク・東京」つくば写真美術館'85 (茨城)  
「Génération Polaroid」Pavillon des Arts (パリ、フランス)
- 1982 「20 世紀の写真・ニューヨーク近代美術館コレクション展」西武美術館 (東京) [カタログ]

- 「国立国際美術館所蔵展」国立国際美術館（大阪）
- 1981 「Das Imaginare Photo-Museum」Photokina（ケルン、ドイツ）
- 「VIVO 展 1959-1962」写大ギャラリー（東京）
- 1980 「THROUGH」Galerie Vivienne（パリ、フランス）
- 「第1回シャルルロワ国際写真トリエンナーレ」（シャルルロワ、ベルギー）
- 1979 「JAPAN: A Self Portrait」International Center of Photography（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「Fleeting Gestures: Dance Photographs」International Center of Photography（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）
- 「Fotografia Giapponese Dal 1848 ad Oggi」Museo d'Arte Moderna di Bologna（ボローニャ、イタリア）
- 1978 「アルル国際写真フェスティヴァル」（アルル、フランス）
- 「VIVO 展」Santa Barbara Museum of Art（カリフォルニア、カリフォルニア州、アメリカ）
- 1976 「Neue Fotografie aus Japan」Kunsthaus Graz（グラーツ、オーストリア）
- 「12人の写真家による自薦作品展 写真売ります」資生堂ザ・ギンザ（東京）
- 1974 「Ten Photographers」McMaster Museum of Art（オンタリオ、オンタリオ州、カナダ）
- 1973 「NEW JAPANESE PHOTOGRAPHY」The Museum of Modern Art, New York（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）〔カタログ〕
- 1968 「日本写真批評家協会賞受賞展」ニコンサロン（東京）
- 1966 「現代写真の10人」東京国立近代美術館（東京）
- 1962 「NON 展」銀座・松屋（東京）
- 1960 「現代写真」東京国立近代美術館（東京）
- 1959 「第2回ヴェネツィア国際写真ビエンナーレ展」（ヴェネツィア、イタリア）
- 第3回「10人の眼」小西六ギャラリー（東京）
- 1958 第2回「10人の眼」小西六ギャラリー（東京）
- 1957 「国際主観主義写真展」銀座・松屋（東京）
- 「10人の眼」小西六ギャラリー（東京）

## 受賞歴

- 2006 旭日小綬章
- 2005 日本写真協会功労賞
- 1996 紫綬褒章
- 1987 第3回東川賞国内作家賞
- 1986 日本写真協会年度賞
- 1968 第18回芸術選奨文部大臣賞（『ヨーロッパ・静止した時間』）

- 第9回毎日芸術賞（『ヨーロッパ・静止した時間』）
- 1967 第11回日本写真批評家協会作家賞（『ヨーロッパ・静止した時間』）
- 1959 第2回ヴェネツィア国際写真ビエンナーレ銅賞（《坑夫》）
- 1958 第2回日本写真批評家協会新人賞（「王国」）
- 富士プロフェッショナル金賞（《考える少女》）

## 主な出版物

- 『ヨーロッパ・静止した時間 WHERE TIME HAS STOPPED』復刊ドットコム、2022年
- 『奈良原一高のスペイン』クレヴィス、2019年
- 『王国 Domains』復刊ドットコム、2019年
- 『HUMAN LAND 人間の土地』復刊ドットコム、2017年
- 『太陽の肖像』白水社、2016年
- 『手の中の空 1954-2004』島根県立美術館、2010年
- 『円 En - Circular Vision』クレオ、2004年
- 『時空の鏡』新潮社、2004年
- 『天 HEAVEN』クレオ、2002年
- 『ポケット東京』クレオ、1997年
- 『空 Ku』リプロポート、1994年
- 『ブロードウェイ』クレオ、1991年
- 『星の記憶』パルコ出版、1987年
- 『ヴェネツィアの光』流行通信、1987年
- 『人間の土地』リプロポート、1987年
- 『ヴェネツィアの夜』岩波書店、1985年
- 『肖像の風景』新潮社、1985年
- 『空気遠近法』（詩・田村隆一）現代版画工房、1983年
- 昭和写真・全仕事シリーズ9『奈良原一高』朝日新聞社、1983年
- 『光の回廊ーサン・マルコ』ウナック・トウキョウ、1981年
- 『写真の時間』工作舎、1981年
- 『光と波と』パルコ出版、1980年
- 『日本の美・近くて遙かな旅』集英社、1979年
- 『王国』朝日ソノラマ、1978年
- 『SEVEN FROM IKKO』ウナック・トウキョウ、1977年
- 『消滅した時間』朝日新聞社、1975年
- カメラ毎日別冊『生きる歓び』毎日新聞社、1972年
- 『EUROPEー筑摩フォトギャラリー』筑摩書房、1971年

「映像の現代」第1巻『王国』中央公論社、1971年  
『ジャパネスク』毎日新聞社、1970年  
『スペイン・偉大なる午後』求龍堂、1969年  
『ヨーロッパ・静止した時間』鹿島研究所出版会、1967年

### 主なパブリック・コレクション

フランス国立図書館（パリ、フランス）  
ハンブルク美術館（ハンブルク、ドイツ）  
国際写真センター（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）  
J・ポール・ゲティ美術館（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）  
北海道立釧路芸術館（北海道）  
M+（香港）  
ヨーロッパ写真美術館（パリ、フランス）  
ボストン美術館（ボストン、マサチューセッツ州、アメリカ）  
ヒューストン美術館（ヒューストン、テキサス州、アメリカ）  
ニューヨーク近代美術館（ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ）  
国立国際美術館（大阪）  
東京国立近代美術館（東京）  
プリンストン大学美術館（プリンストン、ニュージャージー州、アメリカ）  
世田谷美術館（東京）  
島根県立美術館（島根）  
台北市立美術館（台北、台湾）  
多摩美術大学図書館（東京）  
東京都写真美術館（東京）  
横浜美術館（神奈川）